

今年の仕掛けは「オープンスタジオ」、テーマは「想像の海へ！」……^{珊瑚礁の彼方へ} Beyond The Reef か！
毎日続く朝ドラだってアヴァンタイトルで前日のエピソードを繰り返しているのですから、昨年のあとがきと少なからず重複してもお許しいただけるだろうと甘えて書き始めました。

「まだ見たことも聞いたことも経験したこともないようなモノゴトを創りだすこと、これまで見えなかったモノゴトが見えるようになること、これまでとモノゴトが違って見えるようになり、生きることが豊かになることを目指した活動をする」こんなマニフェストをかかげて、ぼくたちが10年以上楽しんできたSMFも、昨年からは親離れをして成年期に入りました。

成人になれば子供をつくりたくなるのが大人^{ひと}の常、というよりも男女共通の欲望、結果、SMFも可愛い息子（もしかしたら娘）を授かり、それが「宝船展」、新春のアンデパンダン展です。

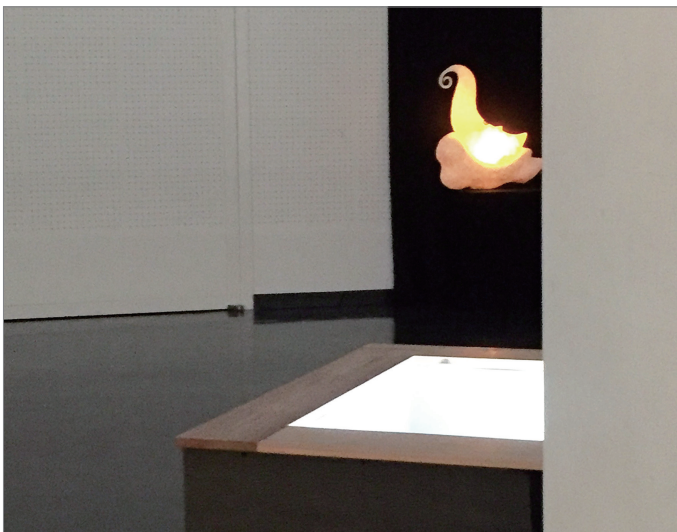
「かわいい子には旅をさせよ」の故事に倣ったからか、昨年は「場所と表現をめぐる旅」がテーマでした。今年はいよいよ「創造の海へ！」船出です。青山さんの「まえがき」によれば、そこは珊瑚礁の海、Bing Crosby ばりに Beyond The Reef でも口遊みながらの出帆です。

しかし、「ラウンドテーブル」、「さんなすび展」、「アートのまつり」のDNAを受け継いだやんちゃな「宝船展」、出展者たちはそんなテーマにはお構いなく自由奔放、昨年を超えた作品数の揃い踏み。そのほか、鳴り物入りの獅子舞を皮切りに、いくつかのパフォーマンスで大賑わい、会場入口際に設営されたオープンスタジオでは、作品製作を続けるSMFアーティストたちの中へ、参加する入場者が押しかけます。そして「アーティストおみくじ」で平成最後の新春^{うんだめ}の運試し、前後左右の作品の間を練り歩くと奥に暗く怪しげな部屋が、そこでは魅力的な灯りや影の作品に隠れて、炉端と見紛う井戸底にまだ見ぬプロジェクトの夢が秘かに映しだされていました。そうそう、恒例のラウンドテーブルも青山さんのリードでその井戸端で行われ……と、今年も盛りだくさんの宝船展でした。

■
いずれこの記録集も「アート長屋」に収蔵されます。「アート長屋」もぼくたちSMFが運営するアンデパンダンのインスタレーションで、アートに関心をもつ誰でもが、ネット上の長屋に敷金家賃なしで部屋を借り、そこで自分の作品や夢を表現することができる仕組みになっています。この長屋には隣接して「アート物置」と呼ばれる蔵が建ち、そこには書架もあり、この記録集をはじめ様々な作品、報告がしまわれたアーカイブズでもあります。長屋には井戸もあり道行く人も入居者たちもそこに集い、住戸の作品や蔵の中から話の種を引っ張り出し井戸端会議に花が咲く、そんなヴァーチャルコミュニティを目論んで発足した「アート井戸端」でしたが、まだ十分に活用されているとは言えません。

年にいちど、アートを表現する側ばかりではなく、企画する側、楽しむ側、様々な立場から^{face to face}、作品を語り、夢を語り、思いを語り合うひとときを持つ「ラウンドテーブル」、「宝船展」はこの「ラウンドテーブル」と「アート長屋」を両親として産まれたインスタレーションで、昨年の「あとがき」によれば「アート長屋」が母親です。

■
結局、昨年の常体を敬体に代えたプロローグシーンだけで終わる「あとがき」になってしまいましたが、出展者の方々、会場に来て下さったの方々、そして一緒に主催をして下さった埼玉県立近代美術館のご厚意に、SMF一同 厚く御礼申し上げます。この感謝の気持と、来年も参加協力してくださるに違いないというぼくらの期待こそが、この「あとがき」の本分だとして筆を（というよりタブレットを）置くことにします。



■ 幼年期（PRE SMF 時代）

2002 年	ヒアシンスハウスをつくる会、発足
2004 年	ヒアシンスハウス竣工
2006 年	さいたまアート懇話会
2007 年	さいたまアートフォーラム研究会

■ 少年期

2008 年度	SMF 発足 平成 20 年度 文化庁「芸術拠点形成事業」（ミュージアムタウン構想の推進） LINK! ミュージアムからアートの風を!! 「風の記憶」…… アート竜巻フェスタ 2008
2009 年度	平成 21 年度 文化庁「美術館・博物館活動基盤整備事業」 SMF アートのわっ! 「風の行方」…… あつまれアートのつむじ風 2009
2010 年度	平成 22 年度 文化庁「美術館・歴史博物館活動基盤整備支援事業」 交差する風 織りなす場「風の軌跡」…… SMF アート楽座・アートバンク 2010
2011 年度	平成 23 年度 文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業（ミュージアム活性化支援事業） Saitama Art Platform 形成準備事業「つながる Heart Art」
2012 年度	平成 24 年度 文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業（ミュージアム活性化支援事業） Saitama Art Platform 形成準備事業「ひろがる」

■ 青年期

2013 年度	SMF の組織化 (会則の作成、会員の会費による運営、フォーラムの開催とフォーラムの決議による運営)
2014 年度	平成 26 年度 地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業 あなたとどこでもアート「小さな家プロジェクト」(衣・食・住をテーマにした3年計画の初年「住」) 「アート長屋」建設 「アートのまつり」開催
2015 年度	平成 27 年度 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業 あなたとどこでもアート「着がわりプロジェクト」(衣・食・住をテーマにした3年計画の2年目「衣」) 「アート長屋」入居開始 「宝船展Ⅰ」開催
2016 年度	平成 28 年度 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業 あなたとどこでもアート「おかわりプロジェクト」(衣・食・住をテーマにした3年計画の最終年「食」) 「宝船展Ⅱ」開催 さいたまトリエンナーレ 2016 に参加 「SMF 学校」運営

■ 成年期

2017 年度	組織化された SMF の自立した活動の初年 「宝船展 2018 @ MOMAS」開催
2018 年度	親ばなれして自立しようとすれば、それなりに忙しい。 大宮アートフェスティバル 2018 で「SMF アートパーク」開催 入間市博物館では SHUTA さんのワークショップに柴山さんの「電子音響ピープル」、北浦和の商店街に光るきたうらワンが現れたり、ハロウィンで「変身★自分仮面を作ろう」等々々……

この「宝船展 2019 @ MOMAS」が終わっても、休む間もなく MOMAS の扉が待っている。

